

(様式1)

平成17年度 事務事業評価表

記入年月日	平成17年4月19日		記入者		内線	2202
部 名	総務部	課 名	防災対策課		課長名	黒田千尋
事務事業名	防災対策普及啓発推進事業					
予算上の事務事業名	防災対策普及啓発推進事業					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	23120		
基本目標	「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして					
政策名	第3章 安全に暮らせる都市の実現をめざします					
基本施策名	第1節 災害に強いまちづくり				事業開始年度	
施策名	第2施策 防災対策の強化				平成8年度	▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	なし					
3 個別計画の概要	概要					
計画名	なし					
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分	啓発・広報・イベント ▼					
5 事業概要	(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)					
防災リーフレット等を作成し、市民の防災に対する意識高揚を図る。					(2) 対象(誰、何)	
					市民	
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
<ul style="list-style-type: none"> ・防災リーフレット 260,000部作成 ・防災ガイドブック 20,000部作成 						
6 関連・類似事業や他市の状況						
7 事業費の推移	〔単位：千円〕					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業費	1,062	1,032	2,660	979	979	
一般財源	540	509	1,317	967	967	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	522	523	1,343	12	12	
人件費の合計	511	492	661	496	496	
事業コスト合計(a)	1,573	1,524	3,321	1,475	1,475	
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)						
主たる事業名	防災対策普及啓発推進事業			対象名称(単位)	市内世帯数(4/1現在)	
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業コスト(主たる事業)	1,573	1,524	3,321	1,475	1,475	
対象数	243,222	247,274	251,528	254,875	258,000	
単位あたり経費(円)	6	6	13	6	6	
前年度比		0.95	2.14	0.44	0.99	

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化						
指標名 (単位)	防災リーフレット等配布率		指標式と指 標の説明	啓発が目的のため配布率とした。 配布出張所管区数/市内全出張所管区数×100		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)	
実績	100.0	100.0	100.0			
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
目標達成度	1.00	1.00	1.00			
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標						
指標名 (単位)	防災に対する啓発率		指標式と指 標の説明	世論調査の地震に対する準備率を成果とした。 地震に対する準備率×100		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)	
実績	82.4	82.4	83.0			
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
目標達成度	82.4	82.4	83.0			
11 個別評価						
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】						
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。				
	<input type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。				
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】						
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。				
	<input type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。				
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】						
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。				
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。				
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】						
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。				
12 総合評価						
(1) 自動判定結果						
	〔 〕：良好な状態を維持する事業					
	〔 〕：概ね良好な状況である事業					
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業					
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業					
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明			
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実		今後とも、様々な手法により、普及・啓発し、市民の防災意識の高揚を図っていく必要がある。		
	<input type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと			
最近のIT化に伴いホームページの利用がふえているので、すでに行っているホームページ等での普及啓発との併用により、より普及啓発事業の充実を図りたい。			市民の強い要望があり、今回のようなタイミングの良い市民への周知を心がけていきたい。			
15 二次評価						
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント			
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実				
	<input type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				